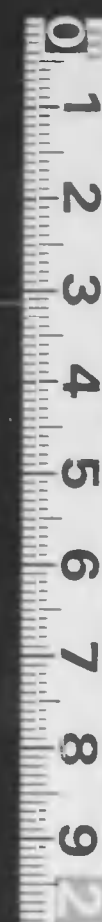


寫眞週報

編輯部情報閣内
ンセ十・號五十六第・日七十月五

太平洋を我が海と





伸ばせ皇國の生命線

南に北にわが海防の要となる海軍は
五月二十七日、東京下江の海軍省で
光輝ある海軍記念日を迎へる。皇國は海軍の活躍
と最盛なるモンテアジニを祝す。撮影 小石 清



開拓満洲

千里の沃野は招く土の戦士を！
先づ實情を視察し國家百年の大計を
認識せよ

野菜も子供も豊作だ（千振村にて）

視察上の詳細は
滿鐵鮮滿支案内所へ
東京丸ビル 同赤坂榮町
大阪堺筋 名古屋横小路
門司税關前 下関駅前
新潟古町通

滿鐵鐵道總局

と海が我を洋平太



近代海上戦の花形一萬噸巡洋艦、その雄々たる威容と、スマートな型態はまた一個の藝術作品ともみられよう。しかも、列強の同級巡洋艦に比べて戦力力の遙かに優れてゐることと、われ／＼日本國民としての大きな誇りである。

いま淀泊中の巨艦は山のような静寂をその外観にみせてゐるが、一歩艦内に入れば、猛訓練で目の廻る忙しさだ。

海軍記念日 を迎へて

明治三十八年五月二十七日
十七日朝聯合艦隊から大本營に達した『敵艦見ユ一』の第一報の原文はこんど新らたに海軍館に陳列されることになった。

事變三年われらは第三十四回海軍記念日を迎へることになった。

時局は正に急重大の度を加へ、海軍は一段の努力を要するの時、日本海海戦當時の諸先輩の偉業を回想することは、海軍に有意義なことであると思ふ。

艦には聖將東郷司令長官閣下の聯合艦隊は「バルチック」艦隊を前にまづ敵の東洋艦隊を撃ち、逐次艦隊兵器の整備、人員の補充交代等を完了の上朝鮮領海附近に集合して猛訓練を開始した。その猛訓練は有名なもので、先鋒隊將士があの時は「一と、速攻にけしき草として傳へられるものであり、一戦として勝つ」の實力と信念を練成獲得して敵艦の來航を今年遂しと待ち構へて居たのである。

明治三十八年五月二十七日早朝、大本

營に聯合艦隊からの電報が來た。『敵艦見ユ一』の第一報は聯合艦隊ハ直ニ出動、之ヲ撃滅セントス、本日天気晴朗ナレドモ波高シ第一艦隊である。艦隊出動！決戦を目指して堂々と雄略艦隊に猛進撃を開始した聯合艦隊の威風を想起するだけでも心が躍る。

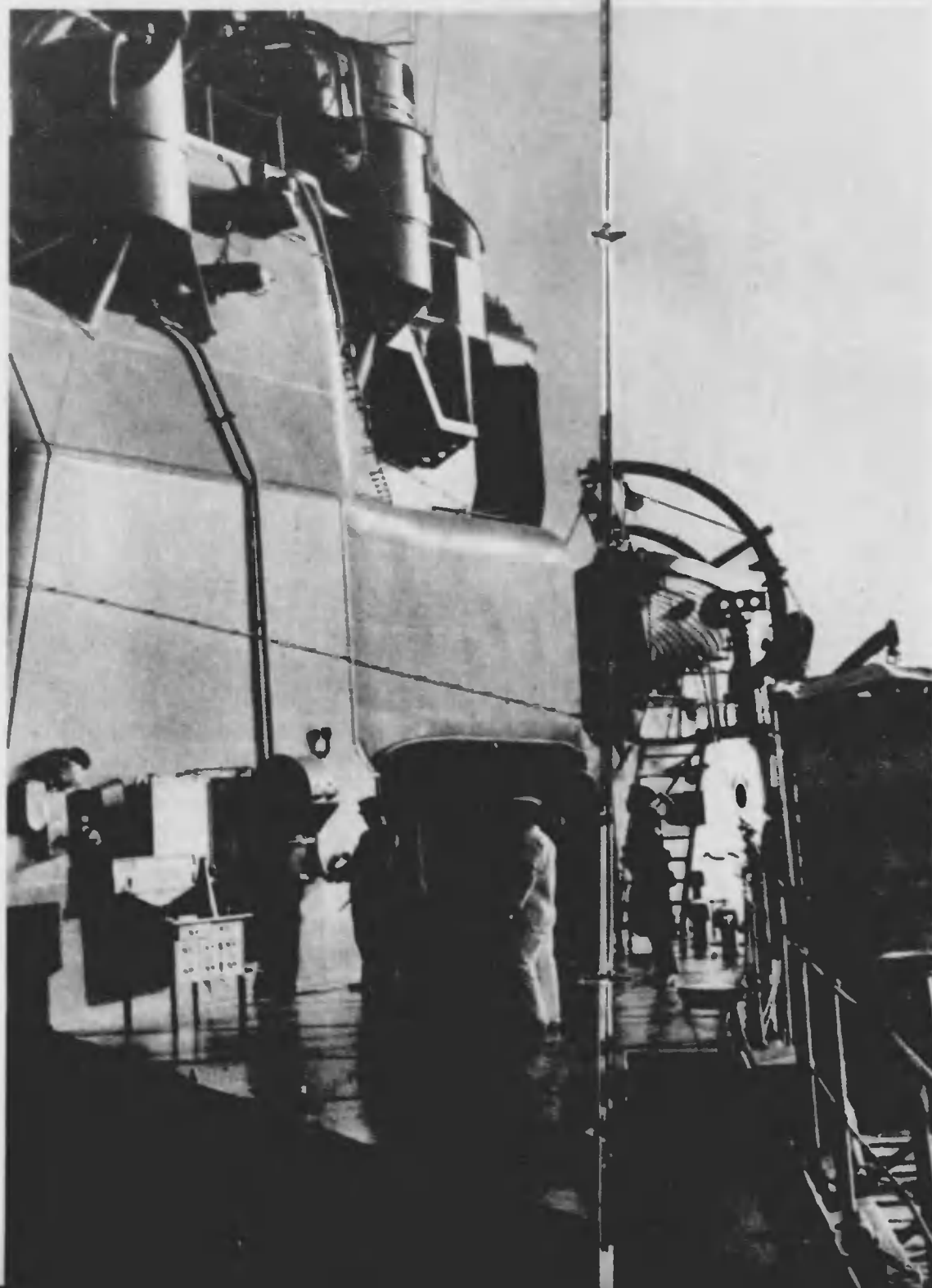
かくて同日正午過ぎに待った敵艦隊を捕獲し「皇國の美譽此の一戦にあり、各員一層奮勵努力せよ」の名義號に戦勇は開始せられ、わが卓越せる實力により戦勇開始後僅か三十分にして既に戦勇の算然たるものあり。翌日まで激戦數十合、遂に敵の大艦隊を文字通り撃滅して、畏くも

「朕ハ汝等ノ忠烈ニ依リ祖宗ノ神靈ニ對フルヲ得ルヲ權フ」との前列なき傳詔を拜したのである。

こゝに敵の全艦隊は撃滅せられ、制海權は完全にわが手に落ち、露國は海上には手も足も出せず、本海戦を轉機として遂に日露戰役を結局に導くことになったのである。

今やわれらは事變下に再度この榮譽ある海軍記念日を迎へた。われらは當時の先輩の功業を追憶し、戦死の英靈、戦傷の勇士に感謝の意を表すると共に、現下においてわが國が直面する幾多困難のよつて來たることを探求し、また幾多復興を極める國際關係上列強軍備充實の趨勢に想を馳せ、制海權の重要性を痛感し「一層奮勵努力」の覺悟を新にする大義である。

海軍省海軍軍事普及部



訓練一まづ終つて皆が楽しい夕食についてゐるとき甲板では甲板直員が將に西の海に落ちようとする夕陽を浴びて勤務についてゐる。日没と共に再び夜戦訓練がはじまるのだ。

昨日は素晴らしい晴天だったが、が、艦隊司令部は數百キロの沖まで飛んで観測してきた飛行機の報告及び氣象観測に基いて今日の晴天を豫斷し演習開始を延期した。艦隊は勿論晴天の如何を問はず訓練を強行することがあるが、普通は研究の體に應じて適當な天候を待つ。この場合天候の豫察を誤ると、氣候（艦）が出動するためには最時間前から汽笛を吹いて蒸氣をつくつておく）のために巨額の燃料費を無駄にしてしまはねばならない。

撮影 内閣情報部情報官
海軍少佐 山口 隆





太平洋を

我が海と



快時、いよいよ艦隊出動だ。旗艦の艦頭高く掲げられた何隻旗がする／＼と降りると、『出港用意』の喇叭が艦隊と鳴り渡る。艦橋からは『鐘を掲げ』の艦長の命令が力強いパスで響いてくる。揚鐘機が鈍重な響きを立て、静かに廻轉する。鐘が海底を離れる瞬間を起鐘といつて、泊の境目である。これで陸との縁を切つて無大海原へ向ふのだ。

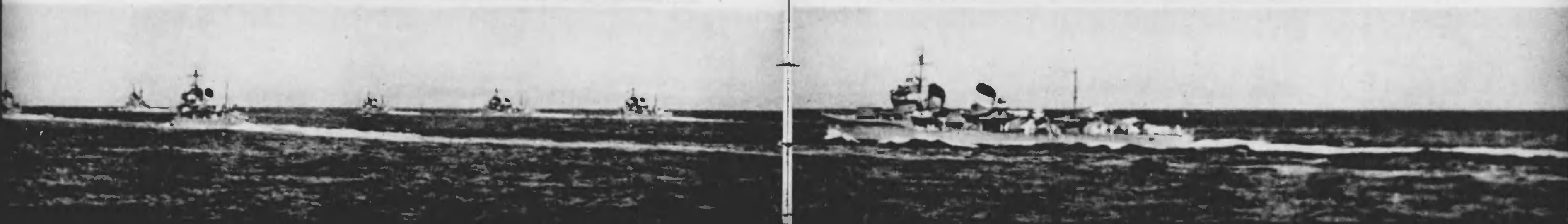
腹がへつては戦は出来ない。千人に近い乗員のたくましい胃袋を保護する艦の基所は、近代設備を誇つて合理的に整然と調理が行れる。所で、演習の際は主計科員の訓練として戦艦空炊といふ變つた作業が始まる。これは乗員が夫々の戦闘配置の持場を動かなくとも食事の出来るやうに握飯をつくり竹の皮に包んで渡してゐるのだ。あつた飯を數百と添ふのでないといふ事を火傷してしまふ。

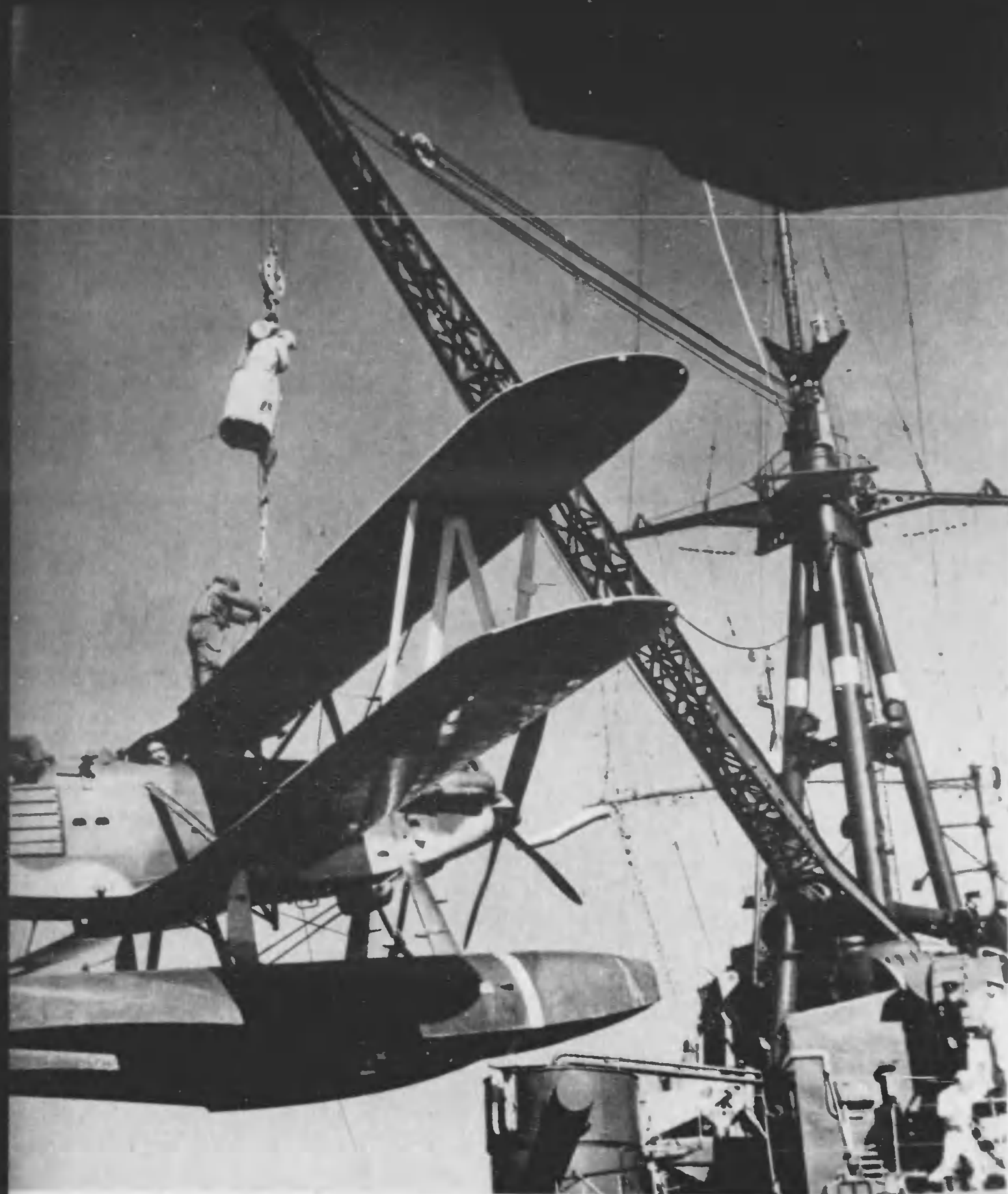


早飯は武士の嗜みとされてゐる。こゝにばくつく海の戦士たちもなか／＼早い。腹は出来た。一寸一服といふところでは傳令は馳せ來つて號令を傳へる『配置に就け！』

艦橋では潜水艇、航空機の奇襲に備へて見張に忙しい。艦橋のどこをみても眞剣な顔。

水雷艇隊はいま、主隊の傍らをすり抜けて敵に突撃する。既に敵を呑む態勢だ。



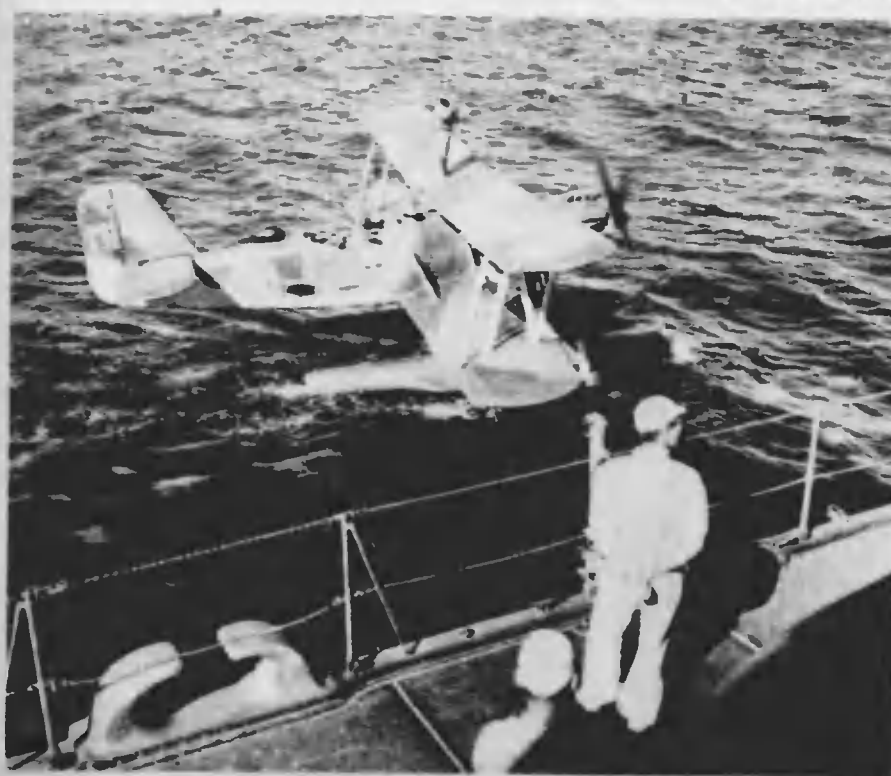


太平洋を
我が海と



↑ 東敵に出動した飛行機から「敵艦見ゆ」の報はついにきた。「敵艦隊の位置北緯〇〇度〇〇分、東経〇〇度〇〇分、西北西に向って進航中」全艦直ちに全速力、決戦の時はいよいよ迫った。

□ 演習はすんだ、やれ／＼休みといふ暇もなく直ちに大砲の手入れ。えん／＼と砲員が石鹼水で砲内を洗ふ。



□ 敵艦見ゆ！ バルチック艦隊の運命は一條の空によつて決定した。いまやわが艦隊は高速をだしても黒い煙ははかぬ。煙幕張の時以外は「黒煙濃々天を沖す」とその威勢を形容されたことも昔語りとなつた。



□ 艦上を離れ大空を縦横に飛躍つた艦載機はいま歸つた。艦隊戦間に偉大な戦果を収めたのだ。かくて武動に輝く海の荒鷲はクレインで艦上に揚収され、次の戦闘に待機する。

空の

轉轍室

東京飛行場

撮影 内閣情報部



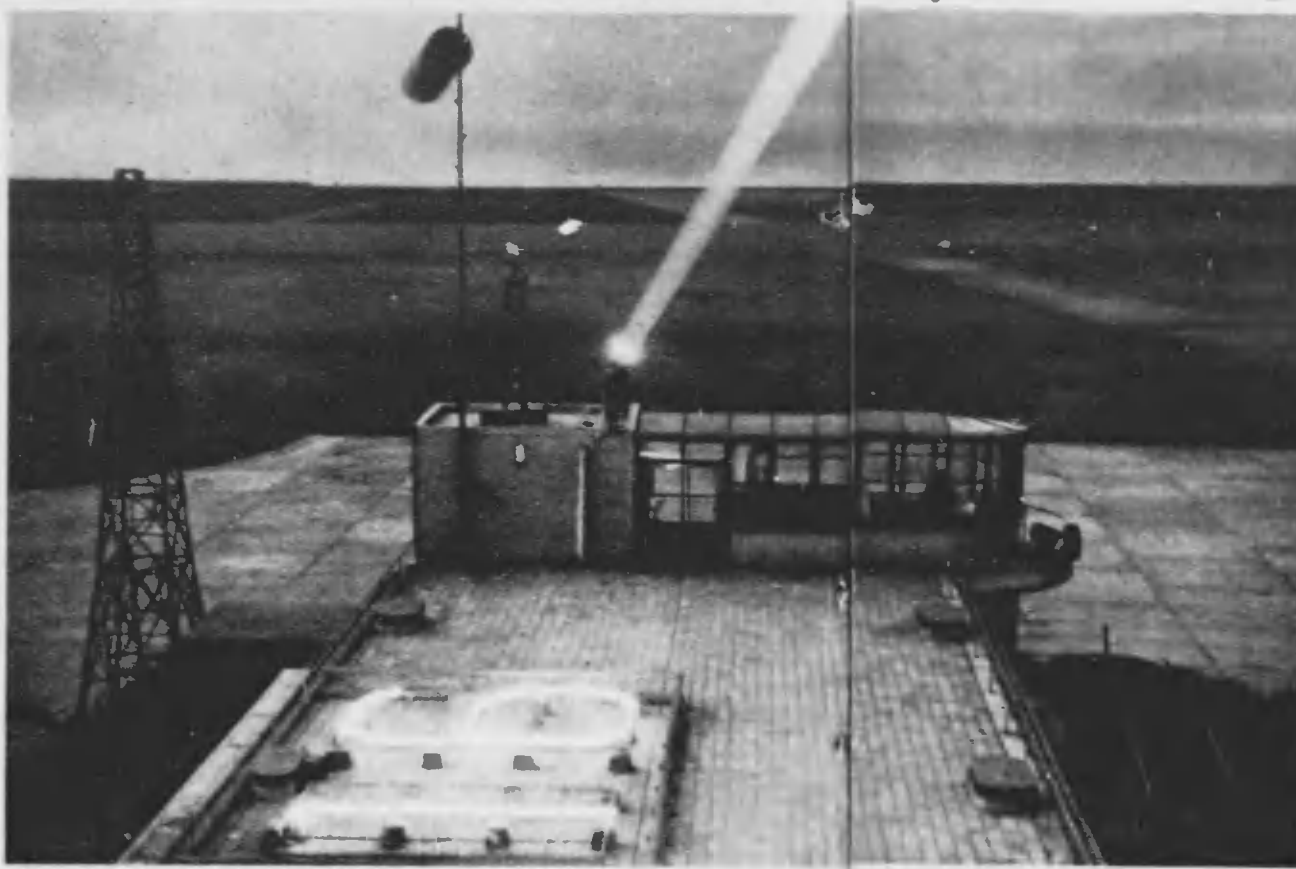
操作室の操作盤 飛行場の平面図を前に信號燈のスキームは悉く列んでゐる。いまこの室から見た到着のサインと共には大阪の上空に定期便は悠々と着陸した。

風向表示機 飛行機が着陸する場合に風の方向を知ることが何よりも肝心なことである。最新式のこの表示機はT字型をしてゐるからT字風向表示機といはれる。字の方向が風の方向である。



一躍五萬坪を擴張して諸設備に面目一新した東京飛行場が誇るものに飛行機發着信託操作室がある。廣い飛行場を一望の下に見渡すガラス張りの室、夜間着陸のために備へた場内二十餘種類の信號燈は凡てこの操作室の操作盤上に悉くと並ぶスキームで自由自在に點滅され、わづか一人の操作者さへあれば夜間いつ飛行機が飛んできても安全な着陸準備がととのふのである。

航空燈臺を目標に闇の夜空を傳へて飛行機が近づくのを見上からの無線、箱根を通過する場合は箱根無線から無線によつて知ると、さうした報告なしに不意に飛行機上空に現はれた場合でも、操作者は到着のサインを鳴らすと共に盤上のスキームを次々とひねると、場内燈、障害燈、風向燈、風力燈、雲高燈、着陸燈等は一齊に燈々と輝いて、飛行場の存在、飛行場上空の氣象は畫圖と同様判然と機上の操縦者にわかり、地理に明るいわが國の飛行機は勿論、土地不案内の外國機でも少しの不安もなく安全に着陸が出来、國際飛行場として恥しからぬサービスをうけるわけである。



操作室と雲高燈、及び風力燈 雲高燈は一種の照空燈で、強力な光を飛行場上空の雲に當て、雲の高さを知る。風力燈はネオンサインの數字で風力を一目瞭然と示す。現在の風速毎秒十六メートルである。また操作室上には警報機が設備され、飛行機到着のサイン、非常警報となる。

航空燈臺と、障害燈 十二萬燭光の航空燈臺の點滅も操作室でやる。屋上に點る赤い障害燈は着陸の際に危険な建物の位置をはつきり知らせる。



風向表示機と場内燈 風向表示機には赤と青の電球が交互に列んでゐて、夜間でも明瞭にT字型を示して風向を知らせる。そして青の光の場合は「着陸禁止」、赤の場合は「着陸待て」の信號となる。飛行場の周囲にボツ／＼光る場内燈は飛行場の範圍を知らせる。

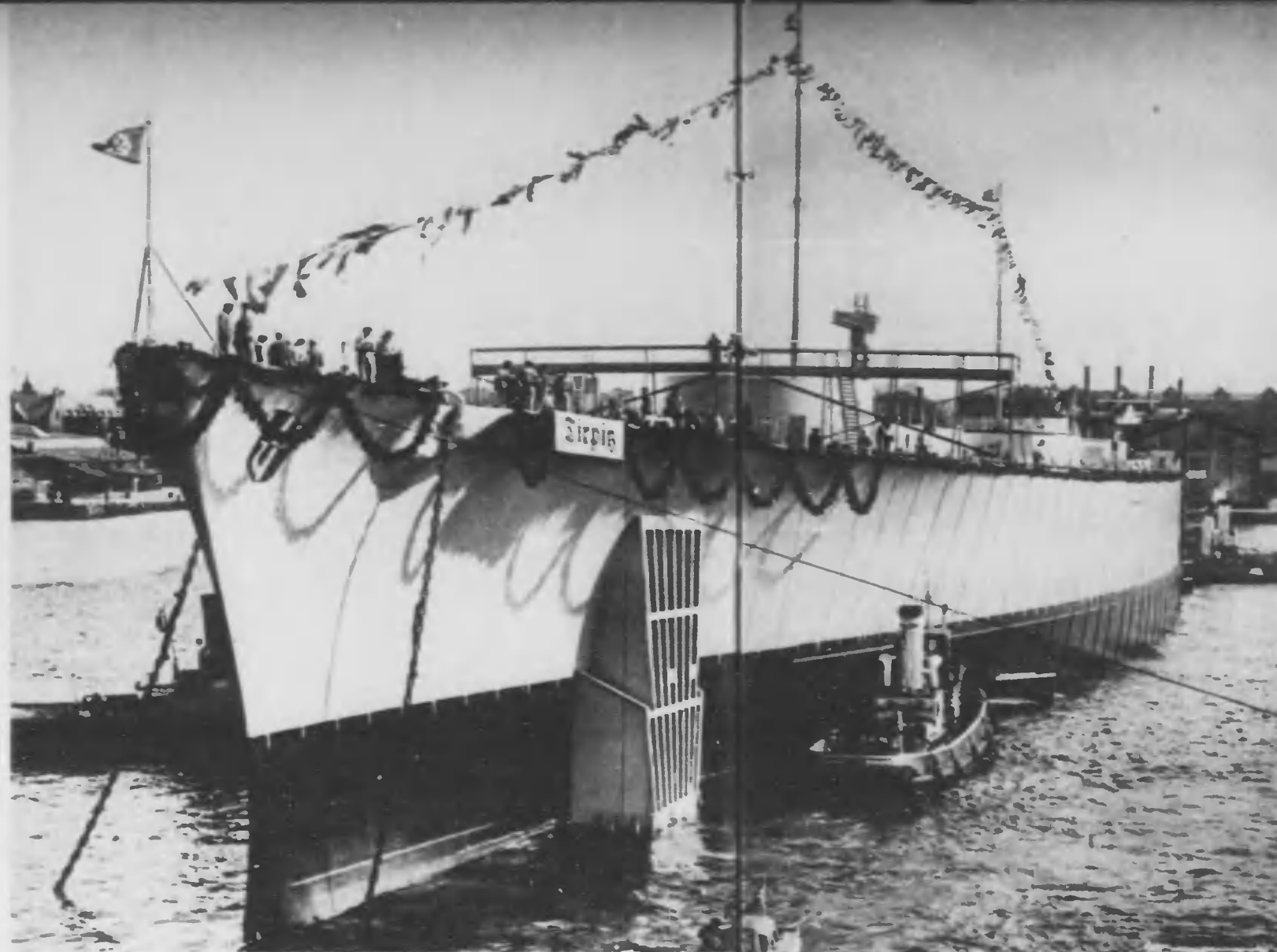
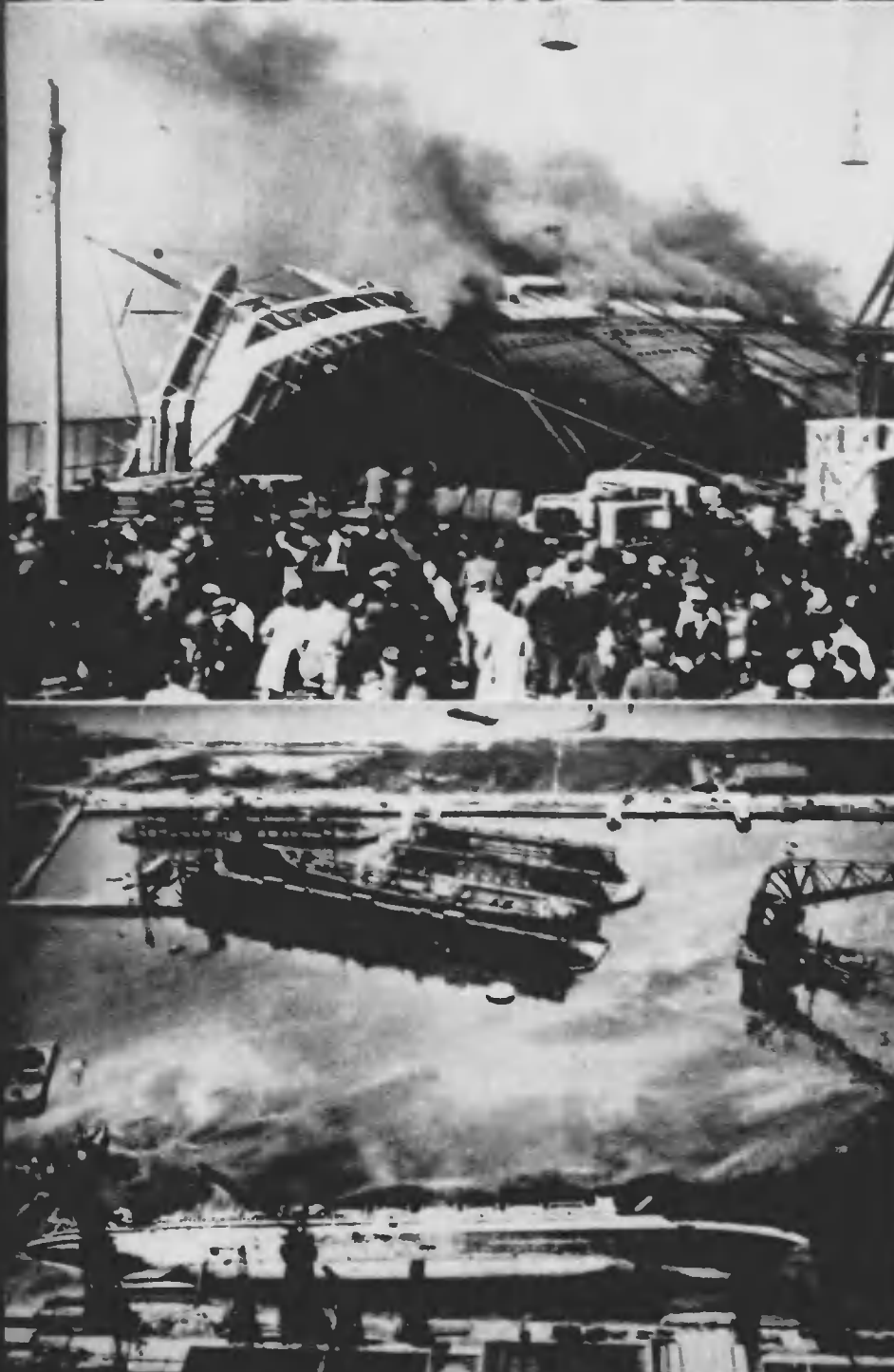
信 通 外 海

**怪火で沈没した
フランスの豪華船**

ニューヨーク結核のフランス商船「パリ」(三萬四千五百六十九トン)は、アイルランドで四月十八日夜火災を起し、翌日沈没した。同船には乗客、金貨、ニューヨーク世界銀行の金庫等が積載されていたが、これらは何れも事なきを得た。なほ、出火原因は不明であるが、フランス當局はこの種海難の頻発を最近の歐洲情勢にむきつけて神経をとがらし調査に躍起となつてゐる。

寫眞は「パリ」沈没過程を空中から撮影したもの。上の寫眞、手前にあるのは同船最大の豪華船「ノルマンディー」號。

富 貴 協 會



獨主力艦「ティルピッツ」進水す

二月中旬進水した「ビスマルク」號の姉妹艦でドイツ海軍の誇る三萬五千トン級主力艦「ティルピッツ」號の進水式は、四月一日ヒットラー総統臨席の下にウイヘルムスハーフェン軍港で舉行された。嵐の前夜を思はせる歐洲の現情勢下にあつて相次ぐ巨艦の進水はドイツ海軍力に劃期的な威力を加へることであらう。



**ヒットラー総統第五十回
誕辰記念スタンプと肖像畫**

四月二十日ヒットラー総統の第五十回誕生日を迎へたドイツは國を挙げての祝賀の催しを行つたが、ベルリン、ミューンヘン、ウィーン、ブレスラウ、ニュールンベルク、ザールブリュッケン、エッスル、メーメル、各郵便局は寫眞のやうな記念スタンプを使用した。右はドイツ現代の有名な畫家リントマール氏の筆になるヒットラーの肖像畫。



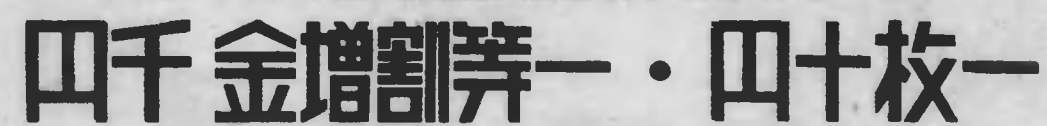
**ガフェンコ露外相と
フンク獨經濟相會談**

いま歐洲の大動向と目されてゐるルーマニアの外相ガフェンコ氏は四月十八日列國注視のうちにベルリン到着、ヒットラー総統、リッペンントロップ外相、フンク經濟相との他と重要會談を遂げたが、この會談によつてルーマニアはドイツとの經濟協定を積極的に進行したい意向を強調した。寫眞は四月十八日夜ベルリン、エッスラナードホテルで會談するガフェンコ露外相(左)、フンク獨經濟相(中)。

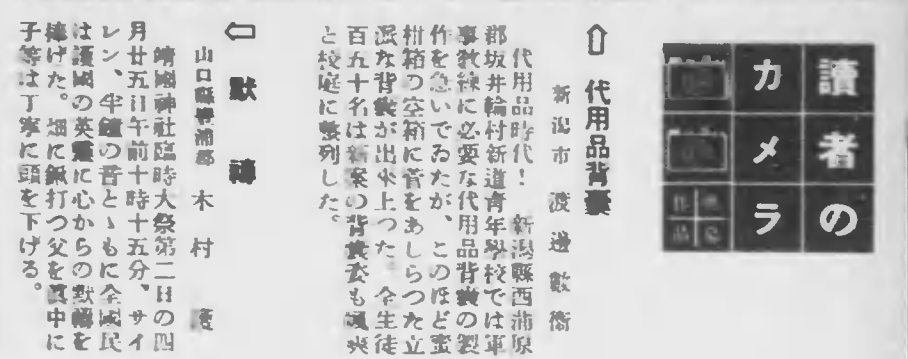
スウェーデンの健康週間

體位向上にはまづ牛乳を大いに飲めとスウェーデンの首都ストックホルムでは市公會堂で最近「牛乳獎勵試飲會」が盛大に催され、大臣も小學生もお婆さんも仲よく牛乳をのんで國民保健の確立を願つた。

支那事情



大藏省・日本勸業銀行

[illegible]

寫眞週報

（禁轉載）

★表紙★

決戦の大海は切られた。
全速力の軍艦隊主隊が一瞬
方向轉換すると見るや、敵
十門の巨砲は一齊に吼えて
天に轟き、硝煙は海を覆ふ。
渺茫の太平洋をわが海とく
るがねの巨艦に黒潮のしが
きあびつゝわが鐵艦は猛調
練をつづける。

撮影 内閣情報部情報官
海軍少佐 山口 肇

寫眞週報

昭和十三年三月九日

大日本新聞社

<p>昭和十四年五月七日印刷發行</p> <p>編輯者 內閣情報部</p> <p>發行所 東京市麹町區永田町 內閣總理大臣官舍內 內閣印刷局</p>	<p>定價</p> <p>一 部 十 錢</p> <p>半ケ年 (前金) 二圓四十錢 一ケ年 (前金) 四圓八十錢</p> <p><small>(凡購報者不論遠近一律郵費在內)</small></p> <p>半ケ年分未滿額發給希望の 前方は一部十錢の割合を以て 前金を返(御申請)下さる。</p>	<p>申請込所</p> <p>電話九区内(23)三五一九 郵便番号九一九〇</p> <p>全國各地自報販賣所 東國書籍株式會社 各書店・洋賣店 各新聞販賣店 寫真材料店</p>
--	--	--

結核 豫防に…… 栄養に……



この一粒で
一匙分の肝油
と同じビタミン
A・Dがある

結核に對する確なる治療薬の缺ける今日、罹病してから大騒ぎして多額の費用を投じ病床に悩むよりは、むしろ罹らぬよう……平素から呼吸器の防壁を強化してこれに備へることが大切で、かやうな目的に肝油ハリバがたいへん賞用されてゐます。

肝油を適用すると体内にビタミンAとDが充分に補給され、皮膚は光澤を増し、粘膜は常に濕潤性を保ち、病菌が附着しても、すぐにこれを洗除し得る抵抗力がつきます。加ふるに太陽の紫外線を浴びると同様に、体内に於けるカルシウム及磷の代謝機能を援けて筋骨を丈夫にし、病菌に對する呼吸器の抵抗力を強化し得られます。

肝油はハリバの時代
ハリバは従来の肝油と全く異なり、一粒中ビタミンA三六〇〇國際單位、ビタミンD五〇〇單位と言ふ極めて高單位な濃厚肝油です。従つて大人でも一日三四粒の微量服用で足り、臭くなく、お腹にもたれず、どんな胃腸の弱つた方でも、樂々と永く飽きずに連用し得られます。

百粒三圓五十錢
五百粒十圓五十錢

ハリバ 一粒肝油

東京・大阪・田舎商店
内閣印刷局印刷發行
（刊信）報週・A4倍規定用紙は大人の書本